

食材の栽培履歴調査情報 H26-第1号

5 月度・栽培履歴調査の結果(ご報告)

商品本部及び地方店舗が使用している全ての青果物、及び新たに使用を計画している青果物等について、毎月品目等を指定して栽培履歴の提出を求めて調査を行っています。

- ★ 5 月は使用中の品目 11 点(国内産 9、輸入品 2)について、生産者及び取り扱い業者様のご協力を得て、調査致しました。
- ★ 調査の結果、国内産の 9 点については、全て適正な栽培管理が行われていることを確認致しました。
- ★ また、輸入品の 2 点についても出来るだけ履歴確認に努め、確認出来た範囲では適正であることをご報告いたします。(残留農薬もありません。)

〔説 明〕

庄やグループの店舗で使用する野菜等の食材は、商品本部取り扱いや地方店舗の使用も含めた全てを対象に、抽出調査で栽培履歴を調査し、安全性を確認しています。

一方、契約生産者グループ等の皆様から、安全性を追及する庄やグループの考え方に賛同して頂き、栽培履歴の記録及び提出に快くご協力を頂いております。

- 1 今月の調査では、国内産の 9 点のうちの 6 点については、使用農薬、散布日、希釈倍率、使用量等の全ての項目において、適正な栽培管理が行われていることを栽培履歴の報告で確認致しました。
- 2 また、国内産 3 品目については、記載事項は適正であることを確認するとともに、一部の農薬散布日や作業記録に関する記載漏れ等の主要な事項は生産者に問い合わせを行って安全管理を確認しております。なお、生産者には、記録の徹底をお願い致しました。
- 3 輸入品の 2 点については、残留農薬分析を実施するとともに、当該国における栽培履歴を入手して安全性を確認しています。(日本と、各国の農薬登録や農薬名・使用基準等が異なることから、農薬成分の特定による使用確認、国内で販売禁止となっている農薬成分の使用が無いかと言った事項を重点に調査し、安全性を確認致しました。

<参 考>

- 1 栽培履歴調査は、農薬取締法や農薬登録の変更等を生産者の皆様が確実に承知されているかを確認できることから、残留農薬の有無とは別にリスク防止の観点から重要であると考えて実施しています。
- 2 残留農薬が 0 でも、栽培履歴に問題があれば使用しないことにしています。
- 3 特に、新たな使用開始を検討している生産者グループ等に対しては、出来るだけ調査をしてから使用を判断したいと考えています。

食材(青果物等)の栽培履歴調査結果 (平成 26 年 5 月度)

調査 株式会社大庄総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地	生産者	栽培履歴評価の説明	評価
1	こまつな	千葉	440	① 農薬は適正に使用されていることを確認	◎
2	トレビス	メキシコ	173	① 記載されている範囲では、農薬の適正使用を確認	○
3	かぼちゃ	NZ	602	① 記載されている範囲では、農薬の適正使用を確認	○
4	キャベツ	千葉	うなかみグリーンパーティ	① 農薬は適正に使用されていることを確認 ② 化学肥料は 7 割減、農薬は 6 割減の栽培であることを確認	◎ 大庄特別栽培に準ずる農産物
5	にんじん	千葉	JA いちかわ	① 記載されている範囲では、農薬の適正使用を確認	○
6	きゅうり	群馬	JA 邑楽館林	① 記載されている範囲では、農薬の適正使用を確認	○
6	グリーンカール	茨城	八千代組合	① 記載されている範囲では、農薬の適正使用を確認	○
7	キャベツ	岡山	JA 岡山	① 農薬は適正に使用されていることを確認	◎
8	にら	高知	JA 高知はた	① 農薬は適正に使用されていることを確認	◎
9	ミニトマト	群馬	あいのうカンパニー	① 農薬は適正に使用されていることを確認	◎
10	セロリ	静岡	JA とびあ浜松	① 農薬は適正に使用されていることを確認	◎

注) ① 〔評価マーク〕

◎農薬の適正使用

○記載の農薬使用は適正(一部、記載漏れ)

×農薬使用で不適正な事項あり

② 生産者名の一部は、都合により生産者番号を記載しております。